









HUMAN RESOURCES

Mapping OPALE

導入・利用ガイド

第1.2版



● このガイドの目的

このガイドは、Mapping OPALE(マッピング・オパール)をシステム(IBM i)へ導入し、Mapping OPLAE の基本機能を利用できるようになることを目的としています。

Mapping OPALE 用の帳票設計ツールである M-Designer(エム・デザイナー)の導入や使用方法 は、『M-Designer 導入・研修ガイド』をご参照ください。

◆ 改訂履歴

- 1.1 導入後の権限設定の記述追加
- 1.2 MAPSORTPAG コマンドの設定値追加

● 目次

第1章 Mapping OPALE をシステム(IBM i)にインストールする	4
1. 前提条件	4
2. インストールする	4
第2章 Mapping OPALEメニューを使う	
2.1 Mapping メニュー	16
① スプールの操作	16
② Mapping フォーマットの取り込み	19
③ Mapping フォーマットの操作	21
④ オブジェクトの操作(FNT,OVL,LGO)	
2.2 操作メニュー	23
① Mapping 環境の設定	
2.3 ROBOT メニュー	24
2.4 メール メニュー	24
2.5 M-Connect メニュー	25
2.6 コマンド メニュー	25
① Mapping コマンド	
② システムコマンド	26
第3章 Mapping OPALE のコマンドを使って PDF ファイルを生成する	28
3.1 フォーマットを取り込む	

opale

3.2 スプールを指定する	28
3.3 MAPCPYSPLF コマンドを実行する	30
第4章 QNTC を使用して Windows サーバーや PC に、直接 PDF ファイルを生成する	34
4.1 Windows 側の設定を行う	34
4.2 IBM i 側の設定を行う	44
4.3 PDF ファイルを PC 上の共有フォルダーに生成する	47
第5章 Mapping OPALE のコマンドを使って PDF ファイルを印刷する	49
5.1 プリンター用 OUTQ を作成する	49
5.2 PDF ファイル印刷コマンドを実行する	51
第6章 Mapping OPALE のコマンドを使ってスプールを分割する	55
6.1 MAPSORTPAG コマンドを使う	55



第1章 Mapping OPALE をシステム(IBM i)にインストールする

1. 前提条件

- 1. インストールの際に使用するシステムのユーザーID は、QSECOFR 等の*SECOFR 権限が必須です。
- 2. ジョブの CCSID は"5035"を指定します。
- 3. インストール用プログラムのファイルをシステムに FTP 送信するための PC が必要です。
- 4. システムの IFS の"root"、または"home"フォルダーは共有設定されていて、PC からネットワークドラ イブとしてアクセス可能であることをお勧めします。
- 5. インストール先のシステムに対応した、Mapping OPALE のライセンスキーが必要です。
- 6. システムの OS(IBM i)のバージョンは、V7R1 以降が必要です。
- 7. システムのディスクの空き容量には、2GB 必要です。
- 8. 所要時間は、主として FTP 送信の所要時間に影響されますが、およそ 30 分です。システムの停止や 再起動は不要です。

2. インストールする

- 1. インストール用プログラム(Mxxxxx: xxxxx はリリース番号)を保管した PC 上で、5250 の画面セッションを起動します。
- 5250 画面セッションでは、通信→構成を選択して表示される画面で、下のように、"画面サイズ"は、「27x132」、"ホスト・コード・ページ"は、「939」を指定して、導入先のシステムと接続します。 IBM ACS の画面例

5250 ディスプレイ		×
□ 接続	接続	
- 拡張 - 関連プリンター	セッション名	5250 ディスプレイ
バックアップ・サーバー	宛先アドレス	10.01.20.05
SLP	宛先ポート	23
	プロトコル	IBM i Access Client Solutions 設定を使用しま… \sim
画面印刷	ワークステーション ID	生成
■ 設定	画面サイズ	► 27×132 ~
言語	ホスト・コード・ページ	▶ 939日本(拡張ローマ字) ~
	Unicode オプション	
	Unicode データ・スリームを使用可能にする	●はい ○いいえ
	Unicode フィールド内の DBCS を使用可能にする	●はい ○いいえ
	Unicode フィールド長の保護	●はい ○いいえ
	自動接続	◉はい ○いいえ
	自動再接続	◉はい ○いいえ
	・ OK キャンセル キーボード.	



- 3. QSECOFR 等の*SECOFR 権限を持つユーザーID でログインします。
- 4. 下記のコマンドを実行して、ジョブの CCSID を"5035"に設定します。

CHGJOB CCSID(5035)

5. 続けて、次のコマンドを実行し、インストール用プログラムの受け皿となる保管ファイルを作成しま す。

CRTSAVF FILE(QGPL/Mxxxxx)

- ・ ライブラリ名"QGPL"は任意です。
- ファイル名"Mxxxxx"は、この後、PCからシステムに転送するインストール用プログラムのファイル名です。
- インストール用プログラムファイルは、DVD 等のメディアで用意されます。メディアから一旦 PC の Cドライブ(例:C:¥TEMP)にコピーします。
- 7. 次の手順に従って、インストール用プログラムを PC からシステムに FTP 送信します。
 - ① PC のコマンドプロンプトを起動します。
 - ② 次のコマンドを実行して、インストール用プログラムを保存したフォルダーに移動します。例:CD C:¥TEMP
 - 次のコマンドを続けて実行して、インストール用プログラム(Mxxxx)をシステムの保管ファイル に送信します。
 - FTP IP アドレス (IP アドレスはシステムの IP アドレスです。)
 - ユーザーIDの入力 (システムを使用する際のユーザーIDです。)
 - パスワードの入力 (そのパスワードです。画面には表示されません。)
 - **CD QGPL** (手順5で指定したライブラリ名です。)
 - BIN
 - PUT Mxxxxx
 - ④ 転送が完了すると、送信されたバイト数が表示されます。次のコマンドを実行して画面を閉じます。
 - BYE
 - EXIT
- 9. 5250 画面で、次のコマンドを実行して送信したインストール用プログラムを復元します。 RSTOBJ OBJ(*ALL) SAVLIB(QTEMP) DEV(*SAVF) SAVF(QGPL/Mxxxxx)
- 10. 復元できると"15 個のオブジェクトを QTEMP から QTEMP へ復元した。" というメッセージが表示 されます。



11. 次のコマンドを実行して、インストール用プログラムを起動します。

CALL PGM(QTEMP/RUNSETUP)

	- 🗆	×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ		
🖷 🛍 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐻 🚟 🗵 🎟 💥 🛃 🚢 📸 👑 🃁 📀		
MAIN IBM I メインメニュー		
システム : ・・ システム : ・・ システム : ・・	IUO A	
 ユーザー・タスク オフィス・タスク 汎用システム・タスク ファイル、ライブラリー、およびフォルダー プログラミング 通信 システムの定義または変更 問題処理 メニューの表示 情報援助オプション IBM I ACCESS のタスク 		
90. サインオフ		
選択項目またはコマンド ===> <u>CALL_PGM(QTEMP/RUNSETUP)</u>		
)	
	20/0	107
	16	<u></u>
		et an Maria and Maria

12. 次の画面が表示されます。インストール先のライブラリ名を"MAP400"とします。入力後、実行キー を2回押します。

- 5250 ディスプレイ		-		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ				
Pi li li 🛧 🛃 🕗 🗉 🌎 🤯 🚟 🕺 🎟 💥 🍰 🚢 👗 🃁 📀				
INSTALL CHANGE SOFTWARE parameters	Svstem :		<u>.</u>	
Change name if necessary, then press ENTER.	User :	QSE	COFR	
Installation Library MAP400				
Version of the product :	10.4.2.39554	4		
Manning suite Installation				
F3=Exit F12=Cancel Enter=Installation				
			1.67	344
		<u> </u>	10/	23 - P



13. 次の画面が表示されます。「Sub System Name」欄の値は、"ROBOT"と入力します。「Lang:」の値 は、"JPN"、"1027"とします。その下の4行は、IFS上に作成される Mapping OPALE 用のフォルダー ですが、デフォルトでは次の画面のような構成となっています。

新規導入の場合は、この設定で良いのですが、Mapping V6/V7 から移行する場合には、移行元のシス テムのものと揃える必要があります。そのために多くの場合は、/home/の下の/MAP400/を省略して 次のように書き換えます。

Path to Designer : /home/mapping/

Path to Storage : /home/mapout/

Path to Connect : /home/mapreport/

Path to Mapsend : /home/mapsend/





14. 実行キーを押すとインストールが始まり、次のような画面が表示されますが、実行キーを押して続行します。

■ A - 5750 = 777 = 71.7		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウインドウ ヘルプ		\sim
Pi Pi Pi 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
プログラム・メッセージの表示		
(C I) ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
」 (C I)ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
」 (C I)ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
」 (C I) ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
」 (C I) ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
」 (C I) ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
」 (C I) ファイル SORTSIZUTF の変更はデータが失われる原因となることがある。		
I Installation complete. Skip next steps if update		
続行するためには,実行キーを押してください。		
F3= 終了 F12= 取消し		
MA* A	Ø1/Ø2	i1
	11	

15. インストールが完了すると、次のようなライセンスキーを入力する画面が表示されますので、予め用 意した4組のライセンスキーの内、Product1のキーを入力します。「製品番号」欄に"1"を、「キー を入力してください」欄に2行のキーの値をコピーペーストして、実行キーを押します。

	– 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ	
🖫 🛍 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🦁 🚟 🖼 🎫 🍰 🚢 🏮 📀	
MAPD020 ライセンスキーの入力	
キーを入力後に実行キーを押してください	21/01/00 11,23,04
シリアル番号 78 18880	10. 4. 2. 39554
モデル番号 41A プロセッサータイ:	プ 5022
製品番号	
キーを入力してください : <u>FF3EBF_CC07CA_09CD0</u> <u>9EE3F5</u> _ <u>64003B</u> _FF3AF	7 <u>CBFF12</u> F <u>3B</u>
F1=Help F3=Exit F12=Cancel	
	11/Ø34
	 IC.00.200.03:23
D 1 11よく D 1 11キャイ组の伝え娱いにしょう	と アロット チャー マートチ クター

16. Product 1 から Product 4 まで 4 組の値を繰り返し入力したら"F3" キーを押して、入力を終了します。



- 17. 次の画面が表示されます。
 - ・「会社 ID」欄は、"COMPANY"のままとします。
 - ・「プログラムライブラリ」「ファイルライブラリ」は、手順 12 で指定した"MAP400"となっていま す。
 - ・3 種類のパスは、手順 13 で指定したパスが表示されます。

🖳 A - 5250 ディスプレイ		- 0	×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Pa ha 🕼 🛧 🛃 🕗 💷 🦏 🧊 🚟 📟 📖 💥 🍰 🚢 🐇 📕	⊘		
MAPD004 ****** 環境の設定 *****	**** システム	HUCA	
選択後、実行キーを押してください	21/05/04	10:23:0	D
会社 IĐ	<u>COMPANY</u>		
プログラムライブラリ ファイルライブラリ	MAP400 MAP400		
M-Storage の保存パス オーバーレイファイルのパス MapReport フォルダーのパス	/home/MAP400/mapout/ /home/MAP400/mapping/ /home/MAP400/mapreport/		
MapReport のリッスンポート 保存のバージョン M-Storage PRTF のライターの幅 新しいスプール名 オーバーレイやフォントとデータのマージ Jobd_name	<u>90125.1</u>		
IP アドレス ポート		続く	
F1=Help F3=Exit F12=Cancel			
		Ø5.	/044
	•	 10.01.20.0	



18. 次ページに移動します。

- ・「言語ファイル」は、"MAPMSGJPN"とします。
- ・「言語 ID」は、"JPN"とすることで、メッセージを日本語表示とします。
- ・「桁区切り」は、数値の3桁区切りの記号ですから、","(カンマ)を入力します。
- ・「小数点」は、"."(ピリオド)を入力します。
- ・「ユニコード対応」には、"UCS2"(大文字)を指定します。
- ・「CCSID」は、"65535"とします。
- ・「コードページ」は、"1027"とします。(何れも日本語環境の場合)
- ・「デフォルト制御コード」は、"XPS"(大文字)とします。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	– 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ	
🖺 ħ 🏚 🛧 🛃 🥥 🗏 🖏 🦝 🎬 🗷 📰 💥 🛃 🐇 🐇 🥬 🧭	
MAPD004 ******** 環境の設定 ********	システム MUSA 20/10/15 16・12・42
選択後、実行キーを押してください	
言語ファイル(画面文字) : <u>MAPMS(</u> 言語ID(ヘルプ表示) <u>JPN</u>	GJPN
桁区切り	
ユニコード対応(空白か UCS2) : UCS2 CCSID : <u>65</u> コードページ : <u>1027</u>	<u>5535</u> <u>7</u>
変換テーブル(保存用) : <u>0037_1</u> 変換テーブル(取込用) : <u>019U_0</u>	<u>19U</u> Lib: <u>*LIBL</u> 037 Lib: <u>*LIBL</u>
デフォルト制御コード : <u>XPS</u> _	
F1=Help F3=Exit F12=Cancel	
	18/047
	▲ 🔽 10.0 r.20.00:28 🗊



19. 実行キーを押すと、次の "Mapping 環境の変更" 画面が表示されます。

💂 A - 5250 ディスプレイ		- 🗆 X
アイル 編集 表示 通信 アクション ワ	iインドウ ヘルプ	
i h 🛍 🛧 🛃 🛛 🕖 🗍) 💀 🏭 🕺 🎟 👗 📥 📕 🥬	
Mapping(M) 搊 コマンド(C)	作 (<u>E</u>) ROBOT (<u>B</u>) メール (<u>A</u>) M-Connect (<u>0</u>)	
	Filles Progs	s, MAP4ØØ, s, MAP4ØØ,
	Mapping 環境の変更	
	ファイルのライブラリ <u>MAP400</u> プログラムのライブラリ <u>MAP400</u>	
	F1=Help F3=Exit F12=Cancel	
	Developed by Mapping Suite - (C) 2019	
F1=Help	F3=Exit F12=Cancel	
MA* A		12/055
		▲ <u> </u>

20. 実行キーを押します。メニューの中の"Mapping(M)"が反転表示されますので、↓カーソルキーを1回





- 21. 実行キーを押してコマンドラインを表示させたら、"MAPADDPTS" と入力して実行します。次のような画面が表示されますので、画面コピーを取得し、その後 "F3" キーを押して画面を閉じます。
 - 注1)取得した画面コピーは Mapping 問い合わせ窓口に送付します。Mapping 社では、画面に表示される"ID 値"を元に、およそ 90 日後に処理数を設定する Refill キーを生成して発行します。
 - 注2) Mapping OPALE の導入時に適用するライセンスキーは、処理数は無制限ですが有効期間が 90 日 となっています。有効期間が切れる前に有効期間を無制限とするキー(On Demand キー)と、契約 された処理数をセットするためのキー(Refill キー)のセットが Mapping 社から送られてきます。
 - 注3) ライセンスキーは、システムのシリアル番号やモデル名等の値を使って生成されていますので、 システムが新しいハードウェアに移行される場合には、Mapping 問い合わせ窓口にご連絡くださ い。

	<画面例>			
💷 A - 5250 ディスプレイ		— C) ×	
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ				
🖷 🖻 🏦 🛧 🛃 🥥 🗏 🧌 🐻 🛗 💥	🐉 💩 📠 🎽 闄 📀			
MAPD919 処理数の追加		WUGA		
キーを入力して実行キーを押	21/ 30/14 - 『してください	12:57:	53	
I Ð : 有効なパス : / シリアル番号 : 残りの処理数 : 6 契約した処理数 : 6	fb474600(0) /home/MAP400/mapping/key/map_key.key 7816680 0.0 3.0			
次回リセット日 : 1 キーのタイプ <u>0</u> キーの入力 :	Гhu May 5 11:29:12 2022 			
F1=Help F3=Exit	F12=Cance			
MA* A MW	英数 半角	1	1/024	ļ
	▲ -		0.00.23	F



- 22. Mapping OPALE の導入によって、自動的に "MAPPING" というユーザーができます。ユーザ
 - "MAPPING" に対して、次の設定を行います。
 - i) コマンドラインで"WRKUSRPRF USRPRF(MAPPING)"を実行します。"OPT" に "2" を指定して 実行し、ユーザー "MAPPING" に対するパスワードをセットします。



- ii) F10 キーを押した後、続けて「コード化文字セット」の値に "5035" を入力して実行します。
- 注) Mapping OPALE の自動実行サブシステム ROBOT は、ユーザー "MAPPING" で稼働します。そ の時にジョブの CCSID が "5035" であることが必要なため、ユーザープロファイルの CCSID の値 を前もって"5035"に設定します。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	- 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ	
🖷 🛍 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐺 🚟 📟 🎫 💥 🍰 🚢 🐇 🗒 🦻	
ユーザー・プロファイル変更	(CHGUSRPRF)
選択項目を入力して、実行キーを押してください。	
出力待ち行列 <u>*WRKSTN</u> 「b本"「メー	名前, *SAME, *WRKSTN, *DEV 名前 *LTBL *CHRLTB
アテンション・プログラム <u>*SYSVAL</u>	名前,*ELEE,*SURE ID 名前,*SAME,*SYSVAL 名前 *LIBI *CURLIB —————
分類順序 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	名前, *ETEE, *FOURETE 名前, *SAME, *SYSVAL 名前, *LTBL, *CURLTB
言語 ID	*SAME, *SYSVAL
国内なたは地域 10 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	*SAME *SYSVAL *HEX
文字識別コードの制御 ···· *SYSVAL	*SAME, *SYSVAL, *DEVD
ロケール・ジョブ属性 <u>*SYSVAL</u> 値の続きは+	*SAME, *SYSVAL, *NONE
ロケール	
 ユーザー・オプション <u>*NONE</u> 値の続きは+	*SAME, *NONE, *CLKWD
	続く
F3= 終了 F4=ボワJボn F5= 最新表示 F12= F13= この画面の使用法 F24=	取り消し キーの続き
	Ø5/Ø37
	A Summer and State



- 23. 環境変数 "DBCSSIZE2" を追加して、値を "1" に設定するために次のコマンドを実行します。 ADDENVVAR ENVVAR(DBCSSIZE2) VALUE('1') LEVEL(*SYS)
 - 注)環境変数"DBCSSIZE2"は、必ず大文字で入力します。この設定によって、全角文字は半角文字の 2 倍の横幅の文字として Mapping OPALE が出力するようになります。
- Mapping OPALE は、"PRT01"という OUTQ が存在することを前提としています。もし無かった ら、次のコマンドを使用して、"PRT01"を作成してください。
 CRTOUTQ OUTQ(QGPL/PRT01)
- 25. Mapping OPALE は、システム上で PDF ファイルや印刷データの文字イメージを生成するために、 IFS 上の特定のフォルダーにあるフォント・ファイルを必要とします。標準のフォントは自動的に M-Designer が PC から送信します。ユーザー外字を使用している場合は、Windows 外字のファイル (EUDC.TTE)を次の手順に従って IFS にコピーします。
 - i) Windows 外字のファイルは、他のフォントのファイルと同様に、PC 上の C:¥Windows¥Fonts にありますが、そこから他の場所へ直接マウス操作を使ってコピーすることができません。そこで、先ず Windows のコマンド画面で、次のように "COPY" コマンドを使用して、一旦、他のフォルダー(例 C:¥TEMP)にコピーします。

copy c:¥windows¥fonts¥eudc.tte c:¥temp

- ii) C:¥Temp フォルダーにコピーされた Windows 外字のファイルを、IFS 上の /home/map400/mapping/ttf (または。/home/mapping/ttf) フォルダーにコピーします。
- 26. ROBOT を使って自動的にスプールファイルを分割する場合に必要な設定を行います。そのためにコ マンドラインに、次のコマンドを入力して、実行キーを押します。



GRTOBJAUT OBJ(MAP400/*ALL) OBJTYPE(*FILE) USER(*PUBLIC) AUT(*ALL)

以上で、Mapping OPALE の導入作業は完了です。



第2章 Mapping OPALE メニューを使う

この章では、Mapping OPALEのメニューの内、良く使用するものを中心にご説明します。 ユーザーID が"MAPPING"以外の場合は、"CHGJOB CCSID(5035)" を実行した後に(ユーザーID が"MAPPING"の場合は不要です。)、 コマンドラインに "MAPPING" を入力して実行キーを押す と、"Mapping 環境の変更" 画面が表示されます。そこで実行キーを押すと次のような初期画面に変わります。 なお、この時点でライブラリリストには、"MAP400" が追加された状態となっています。



- メニューを選択すると、その文字は反転して表示されます。(初期画面では、Mapping(M))
- キーボードの上下左右移動のカーソルキーか、マウスを使用して、メニューを選択することができます。
- キーボードの"Shift"キーを押しながら、()内のアルファベットのキーを押すと、直接メニューを選択で きます。(例:Mapping(M)の場合は、"Shift" + "M"キー)
- 画面中央に表示されている"Version 10.4.2.39554"が、このプログラムのバージョン名とリリース番号です。



2.1 Mapping ×= -

初期画面で、Mapping(M)を選択して実行キーを押すと、次のようにサブメニューが表示されます。それぞれのサブメニューについてご説明します。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	-		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
🖷 🛍 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐺 🚟 📟 📟 💥 🍰 🚢 👗 📕 🗐 🗇			
Mapping(M) 操作(E) ROBOT(B) メール(A) M-Connect(O) コマンド(C)			
スプールの操作(S) F.i.lex Mapping フォーマットの取り込み(I) Progr Mapping フォーマットの操作(E) オブジェクトの操作(FNT, 0VL, LG0)(0) 通貨レートの操作(I) M-Storage パスワードの操作	s MAP4Øℓ s MAP4Øℓ) 	
Version 10.4.2.39554			
SERVER			
Đeveloped by Mapping Suite - (C) 2019			
F1=Help F3=Exit F12=Cancel (C) Copyright 2019 Mapping suite			
MA* A MW 英数 半角		Ø4/	005
	▲ _		

① スプールの操作

主に、帳票設計を行うために、システム上のスプールファイルを PC に受信する時に使用します。実行 キーを押すと表示される次の画面で、ユーザー名、OUTQ 名、OUTQ のライブラリ名、スプールファ イル名等の分かっている値を指定して、実行キーを押します。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	-	
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウインドウ ヘルプ		
🖷 🖻 🏠 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐺 🚟 📟 💷 💥 🍰 🚢 🐇 🗒 🦻 🕸		
スプールの操作 (MAPSPLF)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
ユーザー	LL	
F3= 終了 F4=ポワJポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	終	IJ
MA* A MW 英数 半角	Ø	8/042
	T 10 6	1 10 05-10



次の画面が表示されます。この画面では、対象となるスプールに対して、1=送信,2=変更,3=保留, 4=削除,5=表示,6=解放といった、通常の操作の他に下記の操作が可能です。

■ A - 5250 ディスプレイ		- 0	×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルフ 	× • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
MAPD0006 スプールの	の操作	1000A 20/10/22 19:37:21	
選択後、実行キーを押してください			
= 法信 2= 変更 注 法留 4= 前時 3= 表示 0= H apping E= 分割 R= 再印刷 6= 複製 P=PC	- 確心 /= メツセーシード 属性 9= 印刷収沈 への送信 T=TCP/IP による送信 A=POF B= 電子メール C= コピー		
Úpt Spool User Job Job# Spit#	UULU Sts ND Pag Ascii Date Lime Reference Program / L	Formtype i brarv	
_ ĐEMO1 MORINAGA QPAĐEV0004 210872 1	1 ÐEMOOUT RÐY 1 6 132 24/11/09 17:44:05	*STĐ	
F1=Help F3=Exit F5=	最新表示 F11= 詳細 F21= コマンド F22= ブ	リンター	
		▲ (0.01,20.0	J P

- M=Mapping:スプールに Mapping フォーマットを適用して印刷や PDF ファイルの生成を行います。
- P=PCへの送信:主に帳票設計のために使用します。対象のスプールに対して、ユニコードを使った文字コード変換を行い、IFS上の/home/map400/mapping(または、/home/mapping/)フォルダーにファイルを生成します。"P"を指定して実行すると、次の画面が表示されますので、各値を指定して実行します。
 - 開始ページ、終了ページ:帳票設計のための参照用のスプールファイルを、何ページ目から何ペ ージ目まで取得するかを指定します。(参照用なので、通常は、大量のページ数は不要です。)
 - 出力ファイル:生成されたファイルのファイル名を指定します。ファイル名は、デフォルトでは スプール名ですが変更可能です。PC 側で使用しますので、"pag" という拡張子が付きます。 コードページ:日本語の場合は、半角カナ文字と英小文字の文字化けを防ぐために、"290"か "1027"を指定します。

注) 印刷結果に問題が発生した場合、印刷データを取得して調査する場合があります。そのため には、プリンターの OUTQ 内の調査対象のスプールファイルに対して "P"を実行すると、印刷 データをファイルにして取得することができます。その場合はファイルの拡張子を "dmp" と指定 します。また、コードページは、"*SPL"のままとします。 opale

🖳 A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
MAPD006 スプールの操作			
選択後、実行キーを押してください に 送信 2: 変更 3: 保留 4 削除 5: 表示 6: 解放 7: メッセージ 8: 属性 9: 印刷状況 M=Magging E: 分割 R: 再印刷 0: 複製 PERC への送信 TETCP/IP による送信 A=PDF B: 電子メール C: コピー Opt Spool User Job Job# Splf# OUTO Sts Nb Pag Ascii Date Time Reference For Program / Libr P 0EM01 MORINAGA OPA PC へのスプール転送 選択後、実行キーを押してください ファイ 0EM01 1 ジョブ 19 OPAGEV0004 MORINAGA 210872 開始ページ 1 終了ページ 6 出力ファイル 0EM01.pag ページ長 *SPL コードページ 1027 F3=Exit F5: 最新表示 F12=Cance1	mtype rary D	5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
F1=Help F3=Exit F5= 最新表示 F11= 詳細 F21= コマンド F22= プリン	ンター		
Max A MY 英数 半角 17/085			
	 10.3		3 🕄



② Mapping フォーマットの取り込み

PC上の M-Designer を使った帳票設計が完了して、システムに送信したプロジェクトファイルを、オ ブジェクトに変換する(取り込む)ために使用します。オブジェクトに変換することによって、Mapping OPALE が、印刷データや PDF ファイルを生成するための帳票フォーマットとして使用できるように なります。取り込む前のプロジェクトファイルは、次の画面のように、"フォーマット名シーケンス番 号"が一続きの値となって表示されます。対象となるフォーマットに対して、次の値を指定して実行し ます。

- 1:取り込み(インポート)ます。既に同じ名前のフォーマットが存在する時には、置き換えるか確認す るためのメッセージが表示されます。置き換えるには、"Y"、置き換えない場合には"N"を指定しま す。
- 4:取り込みせずに削除する場合に使用します。

■ A - 5250 ディスプレイ			– 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ^ 四 臨 兪 介 ● 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	NV7		
MAPDØ14 Map	ping フォーマットの取り込み	QSECOFR	
1= インポート 4= 削除	5= ファイルの表示	29/ 19/ 20	17:11:27
フォーマット名	言語 説明	日付	時刻
1 OPLTESTØØØ2Ø 1 OPLTESTØØØ1Ø	XPS TestCase Format XPS TestCase Format	23/10/20 23/10/20	17:11:Ø1 17:11:19
_ F1=Help		F12=Cancel	23/002
			10.01.20.00.23



🖳 A - 5250 ディスプレイ		- 0	×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
🖷 🛍 🏦 🛧 🛃 🕗 💷 🧌 🐻 🚟 📟 🎟 💥 🍰 🚢 👹 📁 📀			
MAPD014 Mapping フォーマットの取り込み	QSECOFR	HUCA	
取り込み/削除	QSECOFR		
1 生成モード	20/10/23 17:29:54		
実行キーを押してください			
オブジェ OPLTESTØØØ2Ø XPS			
説明 : TestCase Format			
_ F3=Exit F12=Cancel			
		18/	005
	<u>م</u>]10.01.00.	25:23 🕤



③ Mapping フォーマットの操作

取り込み済みのフォーマットをコピーしたり、削除したりできます。また、対象となるフォーマットを 検索するには、"Search"欄に特定の値を入力してから、"Sort"欄の項目を選択します。 例えば、"Lang"を "XPS" に指定して検索した場合の画面は、次の通りです。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Pa ta ta 🛧 🛃 🕗 💷 🦏 🐻 🚟 📟 🎟 💥 🍰 🚢 😹 👑 🍺 📀			
MAPDØ16 Mapping フォーマットの操作	WOS.	A.	
20/10/23	17:	43:11	
迭状後、美行ヤーを押してくたさい 2= プロパティ 3= コピー 4= 削除 5= オブジェクトの表示			
Search: <u>XPS</u>			
Sort : • Lang. • Format • Seq. • Text			
Ont Lang Format Sequence Description Out	a nam	e	
_ XPS OPLTEST ØØØ1Ø TestCase Format	q	£	
_ XPS OPLTEST ØØØ2Ø TestCase Format			
		U	
F1=Help F3=Evit F5= 最新表示 F12=Cancel			
		11/00:	5
	 10.	01.20.00.28	- F

フォーマットのコピーは、主に、開発環境で生成したフォーマットを本番環境にコピーする場合や、システム の移行に使用されます。

- 同一区画内の既存の Mapping ライブラリ同士間のコピーの場合には、"宛先ライブラリ"にコピー先の Mapping ライブラリ名を入力して実行キーを押します。
- ・ 区画を跨るコピーの場合には、次の手順で行います。
 - コピーしたフォーマットを保存するための新規のライブラリを指定して、そこへフォーマットを コピーします。(新規のライブラリは自動的に生成されます。)
 - ② フォーマットをコピーしたライブラリを保管し、宛先区画上に復元します。
 - ③ Mapping メニューの"コマンド"→"システムコマンド"を指定して、コマンドラインを表示します。
 - ④ ライブラリリストの編集を行って、トップに復元したライブラリを追加します。
 - ⑤ Mapping メニューのフォーマットの操作画面には、コピーされたフォーマットだけが表示されるので、それをコピー先のライブラリにコピーします。



⑥ ③と同じ操作を行って、ライブラリリストからコピーに使用したライブラリを削除します。

	-		×
アアイル 編集 表示 通信 アンション ソイントン ヘルン 唱 略 命 余 * 8 ② ■ 物 感 器 器 画 20 歳 よ 書 よ 単 巻 ③			
MAPD016 Mapping フォーマットの操作 21/04/26 選択後、実行キーを押してください 2= プロパティ 3= コピー 4= 削除 5= オブジェクトの表示	- MU 19	32 :	36
Search:		tq e	
XPS OPLTEST 00010 TestCase Format 宛先ライブラリ : F3=Exit F4=Prompt F5=Refresh			
F1=Help F3=Exit F5=Refresh F12=Cancel MA* A MW 英数 半角		17/	Ø 38
]10.		- F

オブジェクトの操作(FNT,OVL,LGO)

このメニューでは、フォーマットの他に、M-Designer を使ってシステムに転送されたフォントも削除

できます。

🖳 A - 5250 ディスプレイ					—		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘル	プ						
🖷 h ƙ 🛧 🛃 🖲 🥥 💷 🦏 🐺 🛙	🗷 🎞 💥 e		i 🛃 📕 🏮 📀				
MAPD019 オブジェクトの	操作(FN	IT, (OVL, LGO)		- 1100	<u>.</u>	
				20/10/23	19:	Ø1:10	6
選択後、実行キーを押して	てくださ	<u>,</u> `	_ .				
1= 送信 3= フラッシュ	. 4= 削降	余	5= 使用フォーマット	6= 印刷			
Secret							
Sort · OName	0 Type	0	Text				
	1360		TORC				
Opt Object name	Туре	#	Description			Occ.	
_ Arialttf	TTF	2	Arial .ttf			2	j
_ BCJapanPostalttf	TTF	7	BCJapanPostal .ttf			1	
<pre>_ BC39Lttf</pre>	TTF	6	BC39L .ttf			1	
<pre>_ MS_Gothicttf</pre>	TTF	1	MS Gothic .ttf			2	
<pre>_ MS_Gothic_I.ttf</pre>	TTF	4	MS Gothic I.ttf			1	
<pre>_ MS_Minchottf</pre>	TTF	5	MS Mincho .ttf			1	
<pre>_ OCRBttf</pre>	TTF	3	OCRB .ttf			1	
_ OPLTest_1	XPS	2	0PLTest_1			1	
_ OPLTest_2	XPS	1	0PLTest_2			1	
std132	FÐP	21	std132			1]
E1-Holp F	2-Evi+			12-Concel	1		
	0-EXIC		10-取利农小				
MA* A	₩ 英	汝 -	半角			06/01	19
				•	 [10		:]



2.2 操作メニュー

操作メニューには、次の画面にあるサブメニューがあります。この中の、"アクションと関連コマンドの操 作"、"スプールとアクションの関連付けの操作"、"OUTQ 関連付けの操作"は、ROBOT の設定に関わるメニ ューです。これらについては、マニュアル『Mapping OPALE ROBOT 研修ガイド』をご参照ください。



① Mapping 環境の設定

このメニューでは、次のように、導入手順の中の "13" で表示された画面が表示され、設定を変更する ことができます。次のように設定すると、メニューを英語に変更します。

05/044

システム MOSA 20/10/23 19:18:24

言語ファイル(画面文字)

MAPMSGENU



₩ 英数半角

MA*



2.3 ROBOT × = - -

このメニューの使用方法については、マニュアル『Mapping OPALE ROBOT 利用ガイド』をご参照ください。

2.4 × - ル × ニュ -

メール メニューには、次の画面にあるサブメニューがあります。システムを SMTP サーバーとして設定する と、スプールにフォーマットを適用して PDF ファイルを生成し、メール送信するという処理を一度に行うこと も可能です。ただし、メールの件名、本文、添付する PDF ファイルのファイル名に使用する文字に対して、半 角英数文字という制約があります。





2.5 M-Connect × = _ -

M-Connect メニューには、次の画面のサブメニューがあります。これらは、Mapping OPALE のオプションラ イセンスである"DB-Option"を使用して、データベースからスプールを生成したり、csv 形式のファイルからス プールを生成したりする際に使用します。詳細は、マニュアル『Mapping OPALE DB-Option 研修ガイド』 (準備中)をご参照ください。

■ A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルブ			
🖷 🗈 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🌍 🐻 🚟 🖾 🎟 💥 🍰 🚢 👪 📕 🍺 🗇			
Mapping(M) 操作(E) ROBOT(B) メール(A) M-Connect(O) コマンド(C)			
M-Connect サーバーを起動する M-Connect サーバーを終了する M-Connect の定義を作成する(M-Connect フォーマットを取り M-Connect フォーマットを取り M-Connect フォーマットを操作 ROBOT ジョブをチェックする((A) (E) シ ひ すり	(M) (T)	
Version 10.4.2.39554			
SERVER			
Developed by Mapping Suite - (C) 2019			
F1=Help F3=Exit F12=Cancel (C) Copyright 2019 Mapping suite			
MA* A MW 英数 半角		Ø47(ð42
	<u> </u>		3 🗗

2.6 コマンドメニュー

実行キーを押すと、次のように2つのサブメニューが表示されます。

🖳 A - 5250 ディスプレイ		-		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ				
Pi li li 🛧 🛃 🕑 💷 🧌 🦉 👪 🕺 💷 💥 🍰 🚢 🧋 🗒 🦻				
Mapping(M) 操作(E) ROBOT(B) メール(A) M-Connec コマンド(C)	ct(<u>0</u>)			
Mappingコマント (M) システムコマント (S)	Files Progs	MAP400 MAP400		
Version 10.4.2.39554				
SERVER				
Đeveloped by Mapping Suite - (C) 2019				
F1=Help F3=Exit F12=Cancel (C) Copyright 2019 Mapping suite				
ĂA* A 英数 半角			Ø4/	005
		A 5	.01.20.00	2J 🗊

opale

① Mapping コマンド

このメニューでは、次の画面のように、Mapping OPALE のコマンドの一覧が表示されます。使用するコ マンドの番号を入力して、実行キーを押すと、そのコマンドの画面が表示されて実行することができま

す。			
	= 4 - 5250 T/27/1// -		×
	MAPCMD Mappingコマント一覧 次の1つを選択してください。		
	1. COGISPLFUS : スプール・ファイルの処理 2. DATESOFT : バージョン情報		
	3. DEMO : サンプル・スプール・ファイル作成		
	4. DSPDTAQ : データ待ち行列の表示		
	5. EN9RBI : Mapping Robotの終了 e Happpypping スプール・ファイルをのリフップ		
	6. MAPCPTSPLF: スノール・ファイルへのりょうフ 7. MADCPT JORD ・ ジョブ記述の新規作成(Pabat)		
	7. MAPOUPEMT · Manning フォーマットの複製		
	9. MAPDUPSPLF: スプール・ファイルの複製		
	10. MAPECLAT : スプール・ファイルの仕分		
	11. MAPKEY : ライセンス・キーの入力		
	12. MAPRAZPRT : プリンターメモリーの消去		
	13. MAPRBTJOBD : Robotジョフへのライフラリーの登録/削除		
	14. MAPREZ : Mappingの物理ファイルの再編成 15. MAPRSTPRT : Mapping資源の自動ロード(オーバーレイ&フォン	(ト)	
	選択項目またはコマンド		
	F3= 終子 F4= プロンプト F9= コマントの複写 F12= キャンセル (C) COPYRIGHT COGINORD SA. 1999, 2004.		
	MA* A MW 英数 半角	21/00	7
		1.01.20.00.2	- F

②システムコマンド

次のような画面が表示されますので、通常のコマンドラインと同じ操作が可能です。初めに表示されるコ マンド行は4行ですが、F10キーを1回押すと8行に、更にもう1回押すと12行に増えます。もう1回 F10キーを押すと、4行に戻ります。





opale

参考) 8 行の画面例

🖳 A - 5250 ディスプレイ	́г — П	\times
ファイル 編集 表示 通	信 アクション ウインドウ ヘルプ	
🖷 ቤ 🏛 🛧 👱		
Mapping() コマント	M) 弽作(E) RUBUI(B) メール(A) M-Connect(U) ミ (C)	
		_
	Files MAP400	
	コマンドを入力する	
/		
		Ï
-		
		i
	4=Prompt F9=Patrieve F10=View 3 F12=Cancel	
MA* A	₩ 英数 半角 13/0	Ø11
	▲ ▲ 10010000	~ J
12 行の画面	f例	
🖳 A - 5250 ディスプレイ	- D	×
ファイル 編集 表示 通	信 アクション ウインドウ ヘルプ	
🖷 🖻 🏚 土 土	😑 🕗 💷 🆏 🐻 🚟 🖼 📖 💥 🍰 🚢 😹 👑 👂 🗇	
Mapping(コマント	M) 操作(E) ROBOT(B) メール(A) M-Connect(<u>O</u>) [、] (C)	
	Progs MAP400	
	コマンドを入力する	
===>		
		i
-		
-		
		i
-		
-		
	4-Prompt F9-Retrieve F10-View F F12-Gancer	
MA* A		Ø1 <u>1</u>



第3章 Mapping OPALE のコマンドを使って PDF ファイルを生成する

この章では、M-Designerを使って設計したフォーマットを取り込んだ後、Mapping OPALE のコマンドを使っ て、PDF ファイルを生成するまでの手順をご紹介します。この手順は、システムに Mapping OPALE が正しく 導入されたかを確認するためにも有効です。

なお、PDFファイルの生成には、オプションライセンスである "E-Document" が必要です。

また、M-Designer を使った帳票設計方法は、マニュアル『M-Designer 導入・利用ガイド』をご参照ください。

そして、スプールが解放されると、PDF ファイルが自動生成される設定を行うには、マニュアル『Mapping OPALE ROBOT 利用ガイド』をご参照ください。

3.1 フォーマットを取り込む

<u>2.1 Mapping メニューの、②Mapping フォーマットの取り込み</u>を参照して、M-Designer を使って設計したプロ ジェクトファイルをフォーマットとして取り込みます。

3.2 スプールを指定する

PDF ファイルとする対象のスプールファイルを指定し、そのパラメーターを確認します。必要なパラメーター は、次の通りです。

 スプール名 - スプール番号 - ジョブ名 - ジョブ番号 - ユーザー
 以上のパラメーターを指定することによって、システム内のスプールファイルの中の一つを特定できます。こ
 れらの値が不明な場合には、2.1 Mappingメニューの①スプールの操作を使って、スプールのある OUTQ やユ ーザーを元に、次の画面のようにスプールのリストを表示します。



opale

選択したスプールに対して、"D"を指定して実行キーを押します。次のような画面が表示されますので、5つのパラメーターに対して、画面のように範囲指定しコピーします。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Fi fi fi 🛧 🛃 🥥 💷 🌎 🎆 📟 📟 💥 🛃 🖿 👹 🗒 🖤			
スプールのコピー (MAPDUPSPLF)			
選択項目を入力して、実行キーを押してください。			
スプール名	まで ØØ−99 *SPL	999 IT	
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	ř	をり	
		10/03	7
	 [::	.01.20.054	<u>13</u>

または、スプールに対して"M"を指定して実行キーを押すと、この後ご紹介する MAPCPYSPLF コマンドのパ ラメーターを指定する画面が表示されます。



3.3 MAPCPYSPLF コマンドを実行する

2.6 コマンドメニューの②システムコマンドを選択し、コマンドラインで「MAPCPYSPLF」と入力してから、F4 キーを押します。次のような画面が表示されます。3.2 スプールの指定でコピーしたパラメーターをそのまま貼り付けます。この画面は、3.2 スプールの指定で、スプールに対して"M"を指定して実行した時に表示される画面と同じです。

A - 5250 ディスプレイ	- D >	×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ		
Pa Pa Pa 🛧 🛨 🕄 🕗 💷 🦏 🐺 🚟 📟 🎟 💥 😹 🚢 🐇 🗒 🦻		
Mapping フォーマットの適用 (MAPCPYSPLF)		
選択項目を入力して,実行キーを押してください。		
スプール名 英数文字 スプール番号 000001-9999 ジョブ名 000001-9999 ジョブ番号 210872 ユーザー 6 桁の数字 シーケンス	10 文字まで 199, *LAST, *ONLY IRRENT での名前 10 文字まで , *ALL, *MRG M-Storage, D=P+0 10, *DEV, *SPLIT BL N= 保存 H-Hold TD, *SPL(元の SPLF) 呆存, N=No , N=No	
	05/037	
	 10.01.20.00.23 	F

- Mapping フォーマットに、3.1 Mapping フォーマットの取り込みで取り込んだフォーマット名を指定します。1つのスプールに対して適用するフォーマットが1つの場合には、シーケンスには、"00010"のようなフォーマットのシーケンスをそのまま指定しますが、複数のフォーマットを適用する場合には、"*MRG"を指定します。
- 3. その後、F10 キーを押して指定するパラメーターを追加してから、次ページへ移動します。



- 4. 次のような画面が表示されますので、M-Designerの制御コードに"*XPS"を、XPS 出力制御コード に"*PDF"を指定します。これらの値は、必ず大文字で入力してください。
 - 注1) M-Designer の制御コードは、M-Designer のフォーマットのプロパティで指定された値を指しま す。詳しくは、別マニュアル『M-Designer 導入・利用ガイド』をご参照ください。
 - 注2) 一旦生成したファイルを、その後で希望のデータ形式に変換するためには、初めに XPS 形式のフ ァイルを生成します。そのためには、"*PDF"の代わりに"*XPS"を指定します。
 - 注3)この画面では、他に、開始ページと終了ページを指定して、対象となるスプールファイルのページ範囲を指定できます。"*SPL"を指定すると、スプールの属性で指定されたページ数を指定できます。(デフォルトのままだと、スプールの全ページに対して PDF ファイルが生成されます。)

	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
🖷 🗈 🏚 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐺 🚟 📨 🎫 💥 😹 🚢 🐇 🗒 🦻			
Mapping フォーマットの適用 (MAPCPYSPLF)			
選択項目を入力して,実行キーを押してください。			
スプール資源の保存	=Save(*No 2, MAP 2, 132, ZEBRA, *T *PCL, *PE	») "EC DF	
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き	続	ζ	
		17/Ø4	2
	▲ _		3 🕤



- 5. 次ページに移動して、次の値を指定します。
 - XPS 出力ファイル:生成する PDF ファイルの生成先のフォルダーとファイル名。Mapping OPALE は、PDF ファイルを IFS 上に生成します。次の画面の例では、/home/MAP400/mapping/test フォ ルダーに、"BAYTOP.pdf" というファイル名の PDF ファイルを生成する設定となっています。
 注1)存在しないフォルダー名を指定した場合は、フォルダーも同時に作成されます。フォルダー は、導入手順10 で指定したフォルダーと同様に "/home" から始めて記述します。

注2)ファイル名には、英数半角文字を使用してください。

コードページ:半角カナ文字と英数半角小文字の文字化けを防ぐために、日本語のスプールの場合は、"290"か"1027"を指定します。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
🖷 🖻 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🌍 🐻 🎬 🖾 🎟 💥 🛃 🚢 🐇 🗒 🧭			
Mapping フォーマットの適用 (MAPCPYSPLF)			
選択項目を入力して,実行キーを押してください。			
XPS 出力ファイル / /home/map400/mapping/test/BAYTOP.	pdf		
コードページ			
翻訳コード FR, EN			
	続	<	
F3=終了 F4=ポワリポn F5=最新表示 F12=取り消し			
FT3= この画面の使用法 F24= キーの続き			
		12/(0 41
▲	 10	C1 00 0E	<u>–</u> –

opale

6. 通常は、これで実行キーを押すと、指定されたフォルダーに指定されたファイル名の PDF ファイルが 生成されます。その際に、透かし文字のように、スプールファイルのデータよりも下の層に文字やイメ ージを表示させることも可能です。その場合は、表示させたい文字やイメージを持つ XPS 形式のファ イルを IFS 上に保管し、そのフォルダー名とファイル名を次の画面に指定して実行します。

	5 > 0	
🖳 A - 5250 ディスプレイ	_	
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ		
Pi li li 🛧 🛃 🥥 💷 🦏 🐺 🛗 🖾 📖 💥 🍰 🚢 👗 🗒 🗇		
Mapping フォーマットの適用 (MAPCPYSPLF)		
選択項目を入力して,実行キーを押してください。		
オーバーレイの XPS ファイル 🛛 ➡ <u>/home/map400/mapping/layer/sukas</u>	<u>пі.хр</u>	s
Version		
		終り
F3= 終了 F4=ホ ソ] ホ n F5= 最新表示 F12= 取り消し		
		05/075
	 10	

注) IFS の /home フォルダー、または /root フォルダーに対して共有設定をしておくと、PC からネットワークドライブを使ってアクセスし、生成された PDF ファイルを PC 上で表示させて確認することができます。

第4章 QNTC を使用して Windows サーバーや PC に、直接 PDF ファイ ルを生成する

第3章では、PDFファイルを生成するコマンドのパラメーターとして、PDFファイルの出力先に IFS 上のフ ォルダーを指定しました。その他に、IFS 上の標準のフォルダー "QNTC"を使用して、外部の Windows サー バーや Windows PC を PDF ファイルの出力先として指定することも可能です。それによって、IBM i のストレ ージを使用することなく PDF ファイルを保管することができます。 ただし、次の条件があります。

- ① 出力先の Windows サーバーや Windows PC は、固定 IP アドレスを持つ必要があります。
- 処理対象のスプールの属性にあるユーザーがシステム上に存在する場合には、出力先の Windows サーバーや Windows PC 上に、それらを Windows アカウントとして登録します。もしスプール の属性にあるユーザーの中に、システム上に存在しないものがある場合には、"MAPPING" とい うアカウントを登録します。
- ③ 出力先の Windows サーバーや Windows PC 上に、PDF ファイルの出力先となるフォルダーを用意し、それを②で登録したアカウントと共有します。
- ④ IBM i を再起動する際には、出力先の Windows サーバーや Windows PC の IP アドレスを指定し たフォルダーを設定するコマンドを実行する必要があります。

具体的な手順は、次の通りです。

4.1 Windows 側の設定を行う

IBM i 上で PDF 生成するための Mapping コマンドを実行する際のユーザーを、出力先の Windows にもア カウントとして登録します。ここでは"mapping"(小文字で指定) というアカウントを、Windows10 の PC に登録する場合の例と、"sakakura" というアカウントを WindowsServer2016 に登録する場合の例を示しま す。

【Windows10の場合】

1. Windows の "スタート" → "設定" を指定して "Windows の設定" 画面を開きます。





2. "アカウント"を選択し、表示された画面で"他のユーザー"を指定します。

← 設定		0.7	×	
☆ ホ−ム	他のユーザー			
設定の検索	◎ 職場または学校のユーザー			
アカウント	+ 職場または学校のユーザーを追加			
RE ユーザーの情報	8 RT Charge recontrop 5			
□ メールとアカウント	「「「「」」「「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「			
🔍 サインイン オプション	他のユーザー			
▶ 職場または学校にアクラスする	+ その他のユーザーをこの PC に追加			
冬, 他のユーザー	itsleader			
○ 設定の同期	× 管理者 - ローカルアカウント			

3. "その他のユーザーをこの PC に追加"を選択し、表示された画面で"このユーザーのサインイン情報 がありません"をクリックします。

Microsoft アカウント		×
Microsoft アカウント	Microsoft Cのユーザーはどのようにサインイン しますか?	×
	<u>このユーザーのサインイン情報がありません</u> キャンセル 次へ	
	利用規約	プライバシーと Cookie



4. 表示された画面で "Microsoft アカウントを持たないユーザーを追加する" をクリックします。

Microsoft アカウント		×
	Microsoft	
	アカウントの作成	
	someone@example.com	
	または、電話番号を使う	
	新しいメールアドレスを取得	
	Microsoft アカウントを持たないユーザーを追加する	
	戻る次へ	
	利用規約	プライバシーと Cookie

 表示された画面の "この PC を使うのはだれですか?" 欄にユーザーID である "mapping"、"パスワー ドの安全性を高めてください" 欄にパスワード "mapping"を入力します。"パスワードを忘れた場合" 欄には、それぞれ適切な質問と値を入力してください。

注) パスワードは、IBM i 上のユーザーID "MAPPING" のものと一致させます。

Microsoft アカウント	\times
この PC のユーザーを作成します	
パスワードを使用する場合は、覚えやすく、他人からは推測されにくいパスワードを選 んでください。	
この PC を使うのはだれですか?	
mapping	
パスワードの安全性を高めてください。	
••••••	
••••••	
パスワードを忘れた場合	
セキュリティの質問 1	
最初のペットの名前は?	
生まれた場所の名前は?	
「氏のこうのニックネームは!」	
いちばん年上のいとこの名前は?	
初めて通った学校の名前は? (N) 戻る(B)	



6. 入力が完了したら "次へ" ボタンを押すと、次の画面のように "mapping" というアカウントが追加さ れたことを確認できます。

← 設定		(). 	×
☆ ホ−ム	他のユーザー		
設定の検索・ア	+ 職場または学校のユ−ザ−を追加		
アカウント	名 R I 64g1001703 5 管理者		
RE ユーザーの情報	自生力		
ビ メールとアカウント	他のユーザー		
Q。 サインイン オプション	+ その他のユーザーをこの PC に追加		
◎ 職場または学校にアクセスする	itsleader		
♀ 他のユーザー	常理者 - ローカルアカウント		
○ 設定の同期	A mapping ローカルアカウント		

 PC 上に PDF ファイルの生成先となるフォルダーを作成し、追加されたアカウント "mapping" と共有 する設定を行います。ここでは、C ドライブ直下の "MAPPINGPDF" というフォルダーを共有しま す。Windows のエクスプローラーで "MAPPINGPDF" フォルダーを指定し、右クリックします。表 示されたメニューの中の "プロパティ"を選択すると、次のような画面が表示されます。

📕 MAP	PINGPDF	のプロパティ				>
全般	共有	セキュリティ	以前のバージ	∋ ン カ	スタマイズ	
		MAPPIN	IGPDF			
種類:		ריע	ル フォルダー			
場所:		C:¥				
サイズ:		0/(1	ſŀ			
ディスク	上のサイズ	۲: o /۲	ſŀ			
内容:		ファイ	ル数: 0、フォル	ダー数: (D	
作成日	時:	202		19:59		
属性:		□読み取り	専用 (フォルダ	-内のフ	ァイルのみ)	(<u>R</u>)
		🗌 隠しファイ	ル(<u>H</u>)		詳細調	設定(<u>D</u>)
			ОК	+ヤ)	ソセル	適用(<u>A</u>)



8. "共有" タブをクリックして表示された画面の "共有" ボタンを押します。



9. 次のような画面が表示されますので、"名前" 欄に "mapping" を入力してから "追加" ボタンを押しま す。

 \times

÷	😹 ネットワーク アクセス		
	ネットワーク上の共有相手となるユーザーを選択してください	i.	
	名前を入力して [追加] をクリックするか、または、矢印をクリックして相手を検	索してください。	
	mapping	~ 追加	(<u>A</u>)
	名前	アクセス許可のレベル	
	3 RIBH CHARTER	所有者	
	<u> 天有の問題の詳細を表示する</u>		
		♥共有(<u>H</u>)	キャンセ



10. 次のように "mapping" が追加されますので、"アクセス許可のレベル" を "読み取り" から "読み取り/ 書き込み" に変更して、"共有" ボタンを押します。

×

 \times

🔶 🛛 🙇 ネットワーク アクセス

ネットワーク上の共有相手となるユーザーを選択してください

名前を入力して [追加] をクリックするか、または、矢印をクリックして相手を検索してください。

	✓ 追加(<u>A</u>)
名前	アクセス許可のレベル
🙎 mapping	読み取り/書き込み ▼
RECV, toot root.	所有者
共有の問題の詳細を表示する	
	● 共有(山) キャンセル

- 11. 次のような画面が表示されますので、"終了"ボタンを押して画面を閉じます。
 - 🗲 🛛 🔝 ネットワーク アクセス

ユーザーのフォルダーは共有されています。

共有を設定したこれらの項目にリンクしているユーザーに<u>電子メールを送信</u>するか、またはリンクを<u>コピー</u>して、任意のアブリに 貼り付けることができます。

個別の項目	^
MAPPINGPDF ¥¥A067063762¥mappingpdf	
▲ 共有を設定した項目はコンピューターがスリーブ状態になるとアクセスできくなります。 コンピューター上のすべてのネットワーク共有を表示します。	
	終了(<u>D</u>)



12. エクスプローラーの画面で、"MAPPINGPDF" フォルダーに対して、^{状況 24年}と表示されます。

📙 🕑 📙 🗸 MAPPINGPDF		– 🗆 ×
ファイル ホーム 共有 表示		~ 😮
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacksquare \rightarrow PC \rightarrow OS (C:) \rightarrow MAPPINGPDF	✓ ひ /> MAPPINGPDFの検索	
✓ ≦ OS (C) ^ 名前	更新日時 種類	サイズ
> 🔄 【Office365用】※削除しないで下さい > 🔄 Backup	このフォルダーは空です。	
Config.Msi		
🔒 Gaiji		
> Intel		
> 🛃 M_Designer		
> 🛃 MapDraw		
> 🛃 Mapping		
> 🔄 MappingMedia		
MAPPINGPDF		
o 個の項目 V:: 🎎 共有		

13. PC に対して、ユーザーを "mapping" に切り替えてサインオンし、画面の指示に従って、アカウント の設定を完了してください。その後 PC は、通常のユーザーで使用できます。

【WindowsServer2016 の場合】

1. "スタート"→"ローカル セキュリティー ポリシー"を選択します。





2. "アカウント ポリシー"を選択して右クリック → "パスワードのポリシー"を選択します。



3. "複雑さの要件を満たす必要があるパスワードのポリシー"を選択して、"無効"に変更し画面を閉じま す。

髪 lusrmgr - [ローカル ユーザーとグルーブ (ローカル)¥ユーザー] ファイル(F) 操作(A) まテ(A A IIIブ(H)		- 🗆 ×
		複雑さの要件を満たす必要があるパスワードのプロパティ ? ×
ローカル ユ ユ		ローカル セキュリティの設定 説明
<u>ユーサ</u> - ゴ グル-フ ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルブ(H) ◆ ● ▲ ☎ 〒 ※ 凾 № 1 10		複雑さの要件を満たす必要があるパスワード
セキュリティの設定 アカウントポリシー 3 パスワードのポリシー 3 ペアカウント ロックアクトのポリシー 3 ローカル ポリシー 4 セキュリティが強化された Windows マァイフ 7 キャトワーク リスト マネージャー ポリシー 3 公開キーのポリシー 3 アブリケーション制御ポリシー 3 アブリケーション制御ポリシー 3 アブリケーション制御ポリシー 3 野 セキュリティポリシー (ローカル コンピュータ 5 監査ポリシーの評価な構成	ポリシー 到 パスワードの最小文字数の監 ③ パスワードの変更禁止期間 ④ パスワードの変更禁止期間 ④ パスワードの常効期間 ③ パスワードの常型を記録する ③ 暗号化を元に戻せる状態で/ ■ 構雑さの要件を満たす必要が	 ○ 有効() ● 無効(5)
		OK キャンセル 適用(A)
	l	
1		

4. "Windows の設定" 画面で、"アカウント" を選択します。





5.	表示された画面で、"	他のユーザー"を指定します。	
	← 設定	– 🗆 X	
	◎ ホーム		
	設定の検索の	\bigcirc	
	アカウント		
	ՋΞ ユーザーの情報		
	Q。サインイン オブション	ADMINISTRATOR	
	冬、他のユーザー	ローカル アカウント 管理者	
		自分の画像を作成	
		□ 参照	
6.	表示された画面で、"	その他のユーザーをこの PC /	に追加"を指定します。
	← 設定	- 🗆 X	
	©	他のユーザー	
	設定の検索の	+ その他のユーザーをこの PC に追加	
	アカウント	割り当てられたアクセスのセットアップ	
	AE ユーザーの情報		
	🔍 サインイン オプション		
	♀, 他のユーザー		

 表示された画面で、"新しいユーザー"に "sakakura" (システム上のユーザーID を小文字で指定)、"パ スワード"とその確認入力欄に、システム上のユーザーID 用のパスワードを入力します。また、"ユー ザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要"のチェックボックスからチェックを外してから "作 成" ボタンを押します。

	_		×
<u>(北のコーザー</u> 新いいユーザー ? ×	7		
ユーザー名(U): Sakakura			
フル ネーム(F):	-		\times
説明(D):			
パスワード(P):			•
バスワードが確認入力(C):			•
□ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)			
□ ユーザーはパスワードを変更できない(S)			
□ パスワードを無期限にする(W)			
アカウントを無効にする(B)			
ヘルプ(H) 作成(E) 閉じる(O)			
	新しいユーザー ? × ユーザー名(U): sakakura フル ネーム(F):	hLh ∩ ¬ _ + H ⁱ ? × コーザー名(U): sakakura フル ネーム(F):	Alt ∩ つ _ + H ⁱ 新しいユーザ- ? × ユーザー名(U): isakakura フル ネーム(F):



- 8. アカウントが登録できたら、C ドライブ直下に "MAPPINGPDF" というフォルダーを作成します。
- 9. 右クリック→"共有"→"特定のユーザー"を選択します。

	屋閉(Δ)			
🏪 🛃 📙 🖛				
ファイル ホーム 共有	新しいウィンドウで開く(E)			
	クイック アクセスにビン留め			
$\leftarrow \rightarrow \checkmark \downarrow$ $\blacksquare \rightarrow h \land h \land$	♥ Windows Defender でスキャンする			
🏪 ローカル ディスク (C:)	共有(H)	>	🔒 共有の停止	種類
✓	以前のバ−ジョンの復元(V)		sakakura _B	ファイル フォルダー
> 📕 ダウンロード	ライブラリに追加(1)	>	22 特定のユーザー 0	ファイル フォルダー
デスクトップ	スタート画面にピン留めする	l	2021/03/1012:16	ファイル フォルダー
	送る(N)	>	2021/09/03 17:28	ファイル フォルダー
			2021/09/03 17:27	ファイル フォルダー
> E E977	9094X9(1)		2021/03/19 10:30	ファイル フォルダー
> 📑 ビデオ			2021/06/14 14:40	ファイル フォルダー
> 🎝 ミュージック	削除(D)		2021/09/15 16:15	ファイル フォルダー
💙 🏪 ローカル ディスク (C:)	名前の変更(M)			
> 📙 inetpub		>		
Logs	プロパティ(R)			
MAPPINGPDF]	
> PerfLogs				
> Program Files				
> Program Files (x86)				
> Windows				
>				
> 🙍 DVD ドライブ (D:) SSS_X6	4FRE_JA-JP_DV9			
> 💣 ネットワーク	~			
8個の項目				

10. 表示された画面の空欄にアカウント名(ここでは "sakakura") を入力して、"追加" ボタンを押します。追加したアカウント名がリストに表示されたら、右端にある "アクセス許可のレベル" を "読み取り/書き込み" に変更した後、"共有" ボタンを押して共有設定を保存します。

			_		×	~ (Ъ	ローカル
\leftarrow	🙇 ファイルの共有							
	サナナフセイナション							
	共有する相手を選んでくたさい							
	名前を入力して [追加] をクリックするか、または、矢印をクリックして相手を検	索してください。						
		~	;自力10/2	۸۱				
		· ·		m)	7			
	名前	アクセス許可のレ	«Л					
	🙎 Administrator	読み取り/書き込	ን 🔻					
	Administrators	所有者						
	🔏 sakakura 🦰	読み取り/書き込	ን ▼		読み取り			
				~	読み取り/書	き込み	y	
					削除			
	<u>共有の問題の詳細を表示する</u>							
		💡 共有((H)	+	ャンセル			



11. エクスプローラーの画面で、共有フォルダー "MAPPINGPDF" を選択すると、次のように^{状況: 38共有} と 表示されることが分かります。

📙 💆 📙 🖛 MAPPINGPDF						-	×
ファイル ホーム 共有 表示							~ 🕐
← → ~ ↑	:) → MAPPINGPDF				~	ひ MAPPINGPDFの検索	Q
🏪 ローカル ディスク (C:)	^ 名前	^	更新日時	種類	サイズ		
🛩 💻 PC			このフ	オルダーは空です。			
> 🖊 ダウンロード							
> 🔜 デスクトップ							
> 🔮 ドキュメント							
> 📰 ピクチャ							
> 🧱 LFA							
> 🎝 ミュージック							
✓ [™] ローカル ディスク (C:)							
> inetpub							
Logs							
MAPPINGPDF							
> PertLogs							
> Program Files							
> Program Files (x86)							
>							
2 2 0 0 1 9 1 9 (0.) 335_X04 (KC_) K _ 0 V 9							
> 💣 ネットワーク	*						
0 個の項目 🛛 状況: 🎎 共有							

4.2 IBM i 側の設定を行う

- IBM i に対して次のコマンドを実行して、IFS 上の "QNTC" というフォルダーの下に、共有設定を行った PC の IP アドレスを名前としたフォルダーを、書き込み権限付きで登録します。 CRTDIR DIR('/QNTC/10.1.150.240') DTAAUT(*RWX) OBJAUT(*ALL) 注) ここで、"10.1.150.240" は、共有設定した PC の IP アドレスの例です。
- 2. "WRKLNK" コマンドを使用して、PC上の共有フォルダーにアクセスできるか確認します。次の画面 のコマンドのように、"WRKLNK" の後に "OBJ('/')" を指定すると、IFS上の "root" ディレクトリー を特定できます。





3. 次の画面のように、"5"を指定して実行します。

I A - BELLDATA	- 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウインドウ ヘルプ	
Pi li li 🛧 📩 🗄 🖉 💷 🏟 🐺 🚟 🖾 📰 💥 🝰 🚢 👗 🗒 🦻	
オブジェクト・リンクの処理	
ディレクトリー :	
オプションを入力して,実行キーを押してください。 2=編集 3=コピー 4=除去 5=表示 7=名前の変更 11=現行ディレクトリーの変更	8= 属性の表示
OPT e未`ニュュnn、メ]h jb未° 属性 テキスト 5_ / DIR	
	終 わり
パラメーターまたはコマンド ===>	
F3= 終了 F4= プロンブト F5= 最新表示 F9= コマンドの複算 F17= 位置指定 F22= 全フィールドの表示 F23=e本゜=ュ] 続き	写 F12= 取り消し
	10/003

4. 何画面目かで "QNTC" が表示されますので、"5" を指定して実行します。





5. 手順 "1" で指定した PC の IP アドレスがフォルダー (ディレクトリー)として表示されます。

🖳 A - BELLDATA	-		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウインドウ ヘルブ			
🖫 🛍 🏠 🛧 🛃 🕗 💷 🇌 🐻 🚟 📟 🎟 💥 🍰 🚢 👗 📕 👂 👁			
オブジェクト・リンクの処理			
ディレクトリー : /QNTC			
オプションを入力して,実行キーを押してください。 2=編集 3=コピー 4=除去 5=表示 7=名前の変更 8=属 11=現行ディレクトリーの変更	性の表	ŧ示	
OPT eボニ゙ゥhn、メ]h jbホ° 属性 テキスト 5_ 10.1.150.240 DDIR			
		終わり	
パラメーターまたはコマンド ===>			
F3= 終了 F4= プロンプト F5= 最新表示 F9= コマンドの複写 F F17= 位置指定 F22= 全フィールドの表示 F23=eポニュ] 続き	12= 取	てり 消し	
		10/	003
	<u> </u>	105 150.00	- 5

6. 更に "5"を指定して実行すると、共有設定した PC のフォルダー "MAPPINGPDF" が表示されます。

🖳 A - BELLDATA			– 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
🖷 🛍 🏦 🛧 🛃 🥥 🗐 🆏 🐺 📾 🎟 💥 🛃 🚛	占 📕 🔋 📀		
オブジェ	クト・リング	の処理	
ディレクトリー : /QNTC/10.	.150.240		
オプションを入力して,実行キーを 2=編集 3=コピー 4=除去 11=現行ディレクトリーの変更 .	押してくださ。 5= 表示 	い。 7= 名前の変更	8= 属性の表示
OPT eボニ゙ゥhn、メ]b jbホ 5MAPPINGPDF DDI	~ 属性	テキスト	
			終わり
ハラメーターまたはコマンド ===>			
F3= 終了 F4= ブロンプト F5= : F17= 位置指定 F22= 全フィールド	最新表示 Fi の表示 Fi	9= コマンドの複写 23=eポニュ] 続き	₽ F12= 取り消し
	半角		10/003
			· 🔽 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



7. 更に"5"を指定して実行すると、"MAPPINGPDF"にまだファイルが無いことが分かります。



- 4.3 PDF ファイルを PC 上の共有フォルダーに生成する
 - 1. PDF ファイルを生成するコマンド "MAPCPYSPLF"の中で、PDF ファイルの生成先を PC 上の共有 フォルダーに指定して生成します。





 PDF ファイルが生成されると、PC 上の共有フォルダーは次の画面のようになり、IBM i 上の Mapping OPALE から直接 PC に PDF ファイルが生成されたことを確認できます。

注) この画面は、WindowsServer2016の場合のものです。

				-		
7 E ル ホーム 共有 表示 H S V					\sim	₽ _E
← → ✓ ↑ → PC → □-カル ディスク ((C:) → MAPPINGPDF		5 V	MAPPINGPDFの検索	م	
🗸 🛄 bC	^ 名前 [^]	更新日時	種類	サイズ		
> 🖶 ダウンロード	BAYTORpdf	2021/09/15 16:38	Chrome HTML Do	170 KB		
> 🛄 デスクトップ	X					
> 🟥 ドキュメント						
> 📰 ピクチャ						
> 📕 ビデオ						
> 🎝 ミュージック						
✓ ≦ ローカル ディスク (C:)						
> inetpub						
Program Files						
Program Files (x86)						
> Windows						
> ユーザー						
> 💁 DVD ドライブ (D:) SSS_X64FRE_JA-JP_DV9						
> 💣 ネットワーク						
	~					
1 個の項目 🛛 状況: 🎎 共有	×					

3. 参考に、"WRKLNK" コマンドを使用して、5250 端末画面から生成された PDF ファイルを確認する と、次の画面のようになります。

💻 A - BELLDATA				-		Х
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ						
🖷 🖻 🏦 🛧 👱 🗟 ⊘ 💷 🌍 🚟 📟 🎬 🚿	📩 📕 📥 📕 🗐 📀					
オニ	ブジェクト・リ	ンクの処理				
ディレクトリー : /QNTC	/10.1.150.240	/MAPPINGPDF				
オプションを入力して,実行キ 2= 編集 3= コピー 4= ® 11= 現行ディレクトリーの変	ーを押してくた 余去 5=表示 更	ごさい。 7= 名前:	の変更 8=	属性の表え	₩	
OPT eボニ゙ゥhn、メ]h BAYTOP.pdf	jb木°属 DSTMF	性	テキスト			
				終	わり	
パラメーターまたはコマンド ===>						
F3= 終了 F4= プロンプト F17= 位置指定 F22= 全フィー	F5= 最新表示 −ルドの表示	F9= 그 文 F23=e차°그:	ンドの複写 1]続き	F12= 取「	ノ消し	
MA* A	英数 半角				10/	002
				▲ 		- 5

第5章 Mapping OPALE のコマンドを使って PDF ファイルを印刷する

生成された PDF ファイルを、システムからプリンターの OUTQ を介して、直接プリンターや複合機に印刷さ せることが可能です。ただし、そのためには、PDF ファイルを受信すると自動的に展開して印刷する、「PDF ダイレクト印刷」機能がプリンターに必要です。その機能が無いプリンターに印刷する場合には、Mapping OPALE のオプションライセンスである "Mapping Virtual Printer" (以下 "MVP" と略します)を PC に導入しま す。MVP は、PC が受信した PDF ファイルを自動的に検知し、それを PDF リーダーとプリンタードライバー を使って自動印刷します。

MVP の使用方法については、マニュアル『Mapping Virtual Printer V7.1 ユーザーズ・ガイド』をご参照くだ さい。

どちらの場合も、システム上で印刷させるためのコマンドや、OUTQの作り方は変わりません。

5.1 プリンター用 OUTQ を作成する

次の手順で、出力先のプリンター用の OUTQ を作成します。

- コマンドラインで "CRTOUTQ" と入力して、F4 キーを押します。
 注) OSECOFR 権限を持つユーザー ID で実行してください。
- 2. 次の値を入力して、F10 キーを押します。
 - 出力待ち行列、ライブラリ:新OUTQ名とそのライブラリ名
 - リモート・システム:*INTNETADR (固定値)
- 3. F10 キーを押すと表示される次のパラメーター「リモート印刷装置待ち行列」に、"lp"(半角小文字、エ
 - ル・ピー);を入力して、次ページへ移動します。
 - 注)「リモート印刷装置待ち行列」の値は、プリンターの LAN カード固有の値ですが、"lp"は多くのプ リンターで共通に使用できます。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	-		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウインドウ ヘルプ			
🖷 🗈 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐺 🚟 🖾 🎟 💥 🍰 🚢 👗 📕 👂 🕸			
出力待ち行列作成 (CRTOUTQ)			
選択項目を入力して,実行キーを押してください。			
出力待ち行列			
リモート・システム →>> <u>*INTNETADR</u> 			
	続	<	
 MA* A MW 英数 半角		17/04	2
			3 -0



- 4. 次のページでは、次の値を入力して、実行キーを押します。
 - 自動開始する書出プログラム:1
 - 接続タイプ:*IP(固定値)
 - 宛先タイプ:*OTHER(固定値)



- 5. 実行キーを押すと「ホスト印刷の変換」が表示されますので、"*NO"を入力して実行キーを押しま す。
- 6. 更にパラメーターが追加されますので、次の値を入力して実行キーを押すと、終了です。
 - IP アドレス:プリンターの IP アドレス
 - 宛先オプション:XAIX(半角大文字)
 - 区切りページの印刷:*NO





5.2 PDF ファイル印刷コマンドを実行する

<u>第3章</u>で生成した PDF ファイルを、<u>5.1</u>で作成したプリンター用の OUTQ を通して、プリンターに印刷します。

- 1. コマンドラインで"MAPIFS2PRT"と入力して、F4 キーを押します。
- 2. 表示された画面で、次の値を入力して実行キーを押すと、プリンターから印刷されます。
 - 印刷するファイル: /home/MAP400/mapping/test/BAYTOP.pdf
 - スプール名:BAYTOP
 - 出力用 OUTQ:プリンター用の OUTQ 名
 - ライブラリ:プリンター用 OUTQ のあるライブラリ名
 - 注1) スプール名は、プリンターの OUTQ に投入される印刷データ(ここでは PDF ファイル)のスプール の名前です。プリンターの OUTQ のスプールを解放することによって再印刷する場合には、スプ ールそれぞれに固有の名前を付ける必要があります。
 - 注2)「新しいスプールを保存する」を"N"に指定すると、印刷後に OUTQ 内のスプールは削除されます。

A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Pi li di 🛧 🛃 🛛 🖉 🗐 🦣 🐺 🚟 📟 📖 💥 🍰 🚢 🚵 👑 🗐 📀			
IFS ファイルを印刷する (MAPIFS2PRT)			
選択項目を入力して,実行キーを押してください。			
印刷するファイル /home/map400/mapping/test/BAYTOP.	pdf		
スプール名 → BAYTOP 英数文字 10 文字: 出力用 0UTQ → PRTØ1 名前, *JOB, *DEV, ライブラリ → QUSRSYS 名前, *LIBL 新しいスプールを解放する Y O=Ready, N=Hold 新しいスプールを保存する Y Y= 印刷後保存, N= 新紙タイプ *NO 文字値, *YES, *NO 自紙トレイ(TRAY)	まで *SP *No (元の	LIT D SP	LF)
部数(QTY)	続	ζ.	
	 10	11/	046 ឆ ត្រា



- 3. 両面印刷や、部数指定等の印刷制御を行うためには、「PJLを使用する」を "*YES" に指定する か、 "*NO" のままで、F10 キーを押して追加のパラメーターを表示します。単に両面印刷の指定のみで 良い場合や、部数指定は、次の画面のように、「PJLを使用する」を "*YES" に指定した上で、それぞ れの値を指定します。(次の画面は両面印刷を指定する例)
 - 注) メニューにある「給紙トレイ」や「排紙トレイ」、「フィニッシャー」の指定等は、プリンターメ ーカーによって、PJL コマンドの仕様が異なるため、PJL コマンドを使って指定する次の"4"の手順 を使用することをお勧めします。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	_	
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ		
Fi fi 🏠 🛧 🛃 🥥 💷 🧌 🐻 🚟 🕺 🎟 🗱 🎽 🕹 🚢 🥬 📁 🗇		
IFS ファイルを印刷する (MAPIFS2PRT)		
選択項目を入力して,実行キーを押してください。		
フィニッシャー(FINISH) 集約印刷(LMULTIPAGEPRINT) 集約表示(LMULTIPAGEVIEW) 両面印刷(DUPLEX) <u>ON</u> ON, OFF		
	ź	終 l J
F3= 終了 F4=ポワ]ポn F5= 最新表示 F10= 追加のパラメーター F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き		
		Ø8/Ø39
	 1.	

4. しかし、両面印刷の指定でも「長辺綴じ」か「短辺綴じ」を明示する、あるいは、給紙トレイや排紙ト レイを指定して印刷する制御を行うには、F10キーを押して、パラメーターを追加します。



5. 次の画面のように「前置するファイル」「後置するファイル」に、IFS 上に保存した PJL コマンドを記述したファイルを指定します。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	_		×
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ			
Pe 🖻 🚖 🛧 🛃 🥥 💷 🏟 🐺 🚟 📟 📖 💥 🍰 🚢 📥 📕 🧊 🗇			
IFS ファイルを印刷する (MAPIFS2PRT)			
選択項目を入力して,実行キーを押してください。			
フィニッシャー(FINISH) 集約印刷(LMULTIPAGEPRINT) 集約表示(LMULTIPAGEVIEW) 両面印刷(DUPLEX) ON, OFF			
追加のパラメーター			
前置するファイル	ONG. p	i I	
後置するファイル / _ /home/map400/mapping/pil/PJL_Afte	er.pi	۱	
		終り	
F3= 終了 F4=ポワ」ポn F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き			
		16/Ø	75
	1 °	01.00.05.08	- Fu

この指定によって、Mapping OPALE は、プリンターを制御する PJL コマンドで PDF ファイルの前後 を挟んだ印刷データをプリンターに送信します。

PJL コマンドとは、レーザープリンターや複合機では、基本的にメーカー間で共通に使用されているプ リンターの制御コマンドです。ただし、両面印刷指定のコマンドは共通ですが、長辺綴じや短辺綴じの 指定というように、細かい制御のためのコマンドや、給紙トレイや排紙トレイを指定するコマンドは、 メーカーによって異なっているケースが多くあります。

次の画面は、あるメーカーのプリンターで、短辺綴じを指定するための PJL コマンドのファイルを、メ モ帳で開いたものです。

DUPLEXSHORT.pjl - メモ帳 Х ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H) |•%-12345X@PJL JOB NAME = "Mapping Job" @PJL SET JOBNAME = "Mapping Job" @PJL SET DUPLEX = ON @PJL SET BINDING = SHORTEDGE @PJL ENTER LANGUAGE = "PDF

このように、PJL コマンドは文字データとして読んだり編集したりできるものです。

opale

そして、次の画面は、PDFファイルの後に付けて送信する PJL コマンドのファイルを、メモ帳で開いたものです。

//// PJL_after.pjl - 义モ帳 —	×
ファイル(E) 編集(E) 書式(<u>O</u>) 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)	
•%-12345X@PJL EOJ NAME = "Mapping Job" ••!-1,1,1@RCS•	^
<	>

前に付けるファイルの中の

@PJL SET JOBNAME = "Mapping Job"

と、後に付けるファイルの中の

@PJL EOJ NAME = "Mapping Job"

の組み合わせによって、これらのファイルと、間に挟まった PDF ファイルが一体としてプリンターの PDF ダイレクト印刷機能によって処理されます。

また、PJL コマンドは、印刷データ全体に対する制御になりますので、ページ単位やデータ単位の制御 はできません。

PJL コマンドを使ったプリンター制御に関して詳しくは、Mapping Suite の保守対応窓口にご相談くだ さい。

なお、使用するプリンターによって、PJL コマンドが異なっていたり、PJL コマンドでは制御できなかったりする機能もありますので、使用する際には事前の調査や確認テストが必要です。



第6章 Mapping OPALE のコマンドを使ってスプールを分割する

Mapping OPALE は、PDF 化やカット紙化のためのアプリケーションプログラムの変更をできるだけ不要にす るために、事前処理として、スプールを分割/ソート(並べ替え)/結合することができます。 "MAPSORTPAG" コマンドを使用しますが、そのためには次の条件があります。

- オプションライセンスである"E-Document"が必要です。
- コマンドを実行する際に、ジョブの CCSID を"65535"にします。

6.1 MAPSORTPAG コマンドを使う

ここでは、次の画面のように、スプールの各ページ、5行目の11桁目にある5桁の得意先コードの値(Index) 単位で分割する場合の、コマンドのパラメーターを例にしてご説明します。

🖳 A - 5250 ディスプレイ ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ 🖷 🖻 🏦 🛧 🛃 🕗 💷 🧌 🐻 🚟 📟 🎫 💥 🍰 🚢 👶 🗒 🥬 スプール・ファイルの表示 ファイル . . . : TKP061P 制御..... 検索 TKPØ61 ** 受注残管理表(得意先別) ** Ø1 営業部 グループ 10 受注納期 19/09/21 ~ 20/03/20 * 納期遅延 KB 1Ø 1 物品 品番 品名 発注先 単重 KG 発注残計 在庫数 比載 注文書版 発注Na 納期 発注残 受注版 蛬 往 11000214 *) B0111-15014C-1 二月 j * ホ* ワ ョh (ĐK2227) FCD700 JI501 21.000 19710703 1. コマンドラインで "MAPSORTPAG" と入力して、F4 キーを押します。

Х



- 2. 表示された画面で、次の値を入力します。
 - スプール名、スプール番号、ジョブ名、ジョブ番号、ユーザー:対象となるスプールを特定するための値です。
 - Index の行、Index の桁、Index の桁数:スプールのページを分割したり、並べ替えたりするため基 準となる値の位置(行、桁)と桁数を指定します。"+" キーを押すと、10 か所まで追加できます。
 - スプールを生成する:コマンドの実行後、分割や並べ替えた結果となるスプールを生成する場合には、"*YES"を指定します。このコマンドを実行後、ページ番号や OMR コードを付加するために、次に "MAPQUALSPL" コマンドを実行する場合には、スプールは生成しないので、"*NO"を指定します。
 - 生成するスプール名:任意の英数文字の名前を付けます。
 注)スプールを分割した場合は、同じスプール名で、スプール番号が変化します。
 - 出力用 OUTQ、ライブラリ:スプールが生成される OUTQ と、そのライブラリ名を指定します。
 - 新しいスプールを解放する: "*NO"の場合は、生成されたスプールは保留状態となります。

🖳 A - 5250 ディスプレイ	- 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ	
Fi fi 🏦 🛧 🛃 🥥 💷 🇌 🐺 🎬 🖾 📖 💥 🍰 🚢 🍯 🖤	
スプールのソート (MAPS	SORTPAG)
選択項日を入力して、実行モーを押してくたさい。	
スプール名	最大 10 文字の名前
スプール番号	-1-999999, *LAST, *ONLY
ジョブ名> <u>QDFTJOBD</u>	最大 10 文字の名前
ジョブ番号	000001 から 999999
ザー	最大 10 文字の名前
Index の行	行番号 (最大 30)
Index の桁	桁番号 (最大 30)
1世の続きは十	ミ キ (早十 26)
Index の桁数	長で(取入 39)
	*YES *N0
	久気へ」 「「ス」」の 名前、 *JOB、*DEV、*SPLIT
ライブラリ DEMOLIB	名前, *LIBL
新しいスプールを解放する→ *NO	0=Ready, N=Hold
	続く
F3=終了 F4=ポワJポn F5= 最新表示 F12= 取	り消し
F13= この画面の使用法 F24= キ	ーの続き
MA* A MW 英数 半角	19/044
	▲ <u> </u>

3. F10 キーを押した後、次のページに移動します。この画面では、次の値を指定してから実行します。

- ライブラリ: Index の値毎に一旦分割したスプールを書き込むデータベース "SORTDB" を持つライ ブラリを指定します。デフォルトでは "MAP\$\$SORT" となっていますが、これを "QTEMP" に変更 します。複数のスプールに対する分割処理が集中した場合に、同じデータベースに書き込まれて、 複数のスプールが混在することを防ぐためです。
- ソート スプールを制御する:スプールの分割の場合は "Y"、並べ替えの場合は "N" を指定します。

注1)次の画面は実行した結果です。同じスプール名で、スプール番号が1から順番に付与されて分割さ れたことが分かります。また、画面の "Reference Program" 欄に表示された値が、分割の基準と なった5桁の得意先コードです。

スプールのソート (MAPSORTPAG)

MAP\$\$SORT,...

🖳 A - 5250 ディスプレイ		– 🗆 X
ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ^	ヘルプ	
🖷 fi 🏚 🛧 🛃 🧭 💷 🌍 🐻 🚟	📟 🎫 💥 🍰 🚢 📥 🗒 🧐 📀	
ULDDGG S	フ の	
MAF0000	スノールの保証	20/10/27 18:10:03
選択後、実行キーを押してください		2010/27 10.10.20
1= 送信 2= 変更 3= 保留_4= 削除	5= 表示 6= 解放 7= メッセージ 8= 属性 9= 印刷状況	
M=Mapping E= 分割 R= 再印刷 E=	複製 P=PC への送信 T=TCP/IP による送信 A=PDF B= 電子メール C= コピー	
Opt Spool Us er Job Jo	b# Splf# OULQ Sts Nb Pag <mark>Ascii</mark> Đate lime Reference	Forntype
	Program /	Library
	0072 DEMOQUI KDI U 132 24/11/09 17:44:00	
	4512 2.0 FM0001 R01 1 1 * 132 27/10/20 10:04:30 A3101	*STD
SPLITSPOOL OSECOFR OPADEV0001 02	4512 3 DEMODIIT ROY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:36 BK101	*ST0
SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 4 DEMODUT ROY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:36 FC101	*ST9 II
SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 5 DEMOOUT ROY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:36 FD101	*STÐ II
SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 6 ĐEMOOUT ROY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:36 FG104	*ST9 II
SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 7 ÐEMOOUT ROY 1 1 ≭ 132 27/10/20 18:04:37 FJ108	*STÐ II
_ SPLITSPOOL_QSECOFR _ QPADEV0001_02	4512 8 ĐEMOOUT RĐY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:37 HH121	*STÐ
_ SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 9 ĐEMOOUT ROY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:37 HT101	*STD
_ SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 10 DEMOOUT RDY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:37 HT103	*ST9 II
_ SPLITSPOOL QSECOFR QPADEV0001 02	4512 11 DEMODUT ROY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:37 IF101	*ST9 II
_ SPLITSPOUL USECUFR UPADEV0001 02	4512 12 DEMOUUT RUY 1 1 * 132 27/10/20 18:04:37 IK105	*SI9 II
_ SPLITSPOOL QSECOED ODVDEW0000102	4312 13 DEMUUUI KUY I I* 132 27/10/20 18:04:37 13102	*SIN II
	4512 14 DEMOUUT KDT I I ▲ 132 27710720 10:04:37 III001 /4519 15 DEMOUIT DOW 1 1 ★ 132 27710720 18:04:27 TU1074	*ST0
_ 31 21 31 000 030001 % 01 A0010001 02	4312 13 BUILDON NOT 1 1 4 132 277 197 29 10.94.37 10194	
F1=Help F3=Exit	F5= 最新表示 F11= 詳細 F21= コマンド F22= フ	プリンター
₩.* Ă ₩ 英数半角	角 Ø9/ØØ2	
		▲ <u> </u>



🖳 A - 5250 ディスプレイ

ファイル 編集 表示 通信 アクション ウィンドウ ヘルプ

🖷 fa fa 🯦 🛃 🕗 💷 🦏 🐺 🎬 國 🎫 💥 🍰 🚢 🐇 🗒 🦻

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

ライブラリ <u>MAP\$\$SORT</u>

追加のパラメーター

終り

16/Ø37

 \times



注2)生成されたスプールは、データ形式が "*USERASCII" になっていますので、"5=表示"を使って表示しても次の画面のように、読めない状態となっています。しかし、このスプールに対して、"P=PC への送信" (コードページは"*SPL"を指定します。)を行うと、M-Designer 上では正し

									-		-											-										
2	A - 52	50 7	ディスプ	11	,																									_		×
ファイ	ル編	集	表示	通	信	アク	/ ≥ ≡	צו	ウイン	バウ	^	ルプ																				
P	Ē (Ì.	<u> </u>	ł	8	Ø			6	3		I		30	۵				11	۲	2											
			_																										Ø 1	000	0000 76	Ø1
		Ø-		-+			-1-					-2		+		-3-		+			-4		-+	5-		-+		6	+-		-7	
	000	9			_		_	_																								
	001	ļ			Т	K	Ρ	9	6																							
	002	2																														
	003	\$																														
	- 994 - 665	+ =																														
	666	3																														
	667	, 7			ĸΝ		m		d I	ł			1						Й	1	1	11	mi	i +	3							б
	668	3			<i>)</i> N		····	ı a	H	Ś			Å	s	1	Й	1		2		*	h			a k	n k	• Ø	iØ+	б	Гøн	ดด	ดๆั้
	009	3				Ē	:#		Ŷ				,,	Č		2										- 11						
	Ø10	3		_	-	_	_															_										
	Ø11	1																								Pg		3		zγ	ЯI	Н
	Ø12	2			g									9S)	l I	r.	/k			×		7e	ju	78	\$			е	Q	⊐R	е
	Ø13	3		_	_																	_										
	Ø14	4			1	2	Ø	Ø	5	5	3	ø	4	Ø	7	Ø	2	5	1	Κ										t	Øm	Ø
	Ø15	5																														
	016	5																														
	Ø1/ - 510	5			4	~		4	4	~	0	F			-		~	0	4	v											8 7 8	5
	918	5				2	у,			b	9	Ð	4	Ŋ	/	Ø	2	ŏ		Ň										<u>&</u> ±	0±0 /	ิยก
																														ήλη.	< ·	
	МАж		A									MW		Ħ	类		¥ 1	备													Ø17	ØØ7
	no cr											mor		~	, 90			-												— Г		
J																												-	·)-	- J.	0.01.20.	00-20 JJ

く表示され、帳票設計に使用することができます。

- 終わり-